

就労移行支援では、利用者の特性に応じた実習先及び就労先の開拓、並びに、円滑な就労を実現することを目指して、近隣地域との新たなネットワークの構築に取り組んでおります。事例をとおして連携の実際をご紹介します。

### 事例3 埼玉県障害者雇用サポートセンターとの連携

埼玉県障害者雇用サポートセンター（以下サポートセンター）は、平成19年7月に埼玉県により開設され、企業支援アドバイザーが企業を個別に訪問し、障害者雇用についての専門的な提案や助言を行い、雇用の場の創出や企業への雇用支援を行っています。また、就労のコーディネート事業として障害者への就労支援を側面から支援しています。

さらに、企業間ネットワークの構築をおこない、障害者雇用の課題や対応方法などの意見交換・情報交換を行う定例会「障害者雇用企業情報交換会」や年数回の「障害者雇用サポートセミナー」を開催しています。企業からの雇用相談、障害者や就労支援機関などからの就労相談にも対応しています。

当センター就労移行支援では、サポートセンター主催の「障害者雇用サポートセミナー」に職業指導員並びに就労支援員が参加し、そこでの勉強会や情報交換会を通してサポートセンター職員の方々と、また、サポートセンター職員からのご紹介による障害者雇用実績のある事業所の担当者の方々と顔と顔が見える連携が始まりました。

平成20年度には、サポートセンターの職員の方々に当センターを見学いただき、センターの概要や個々の利用者の意向を知っていただく良い機会となり、きめ細かな相談が行われるようになりました。

平成21年度には、サポートセンターに新たに就任した企業支援アドバイザーの方に定期的に当センターに来所いただき、利用者の就労相談をおこなっていただきました。

利用者も企業の支援を行っている方から現場の声や企業の様子などの説明を聞き、面接、実習、トライアル雇用等の就労に向けてのプロセスや求職活動の留意点がわかり不安感が軽減されました。

障害者雇用サポートセンターが職場開拓された事業所をご紹介いただくことにより、利用者と企業とのマッチング支援が行いやすくなっています。

障害者雇用の場の創出や企業とのコーディネートをしていただく障害者雇用サポートセンターとの連携協力により、利用者の働きたい意欲とニーズ、企業の求める人材との雇用のマッチングが効果的に進められるようになってきています。

互いの顔の見える連携を継続し質の高い就労支援や職場定着支援を目指しています。

(参考)

埼玉県障害者雇用サポートセンター ホームページ

<http://www.koyou-support.jp/activity/index.html>